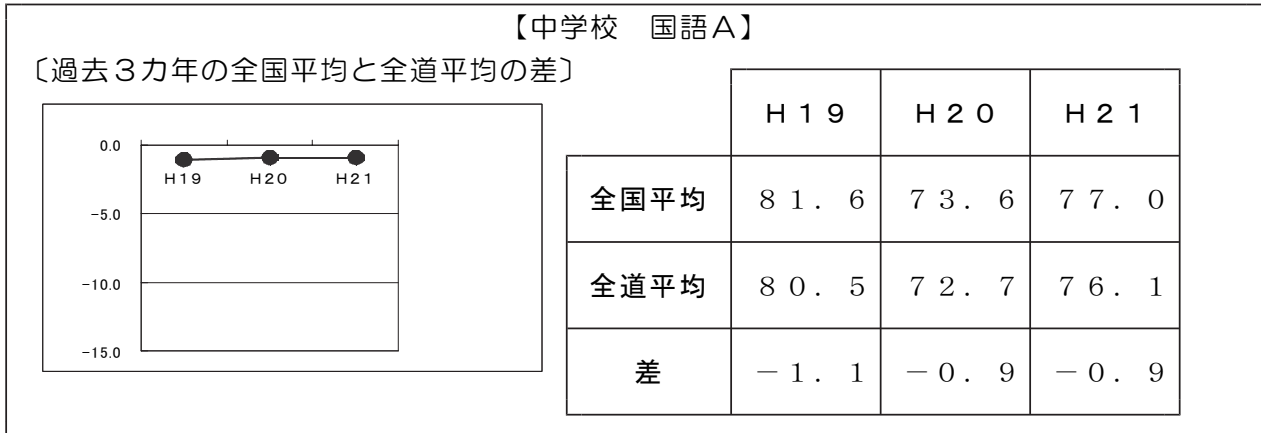


イ 3年間継続して課題となっている設問の分析と改善

【中学校国語A】

○ 経年比較

中学校国語Aにおける全国と全道の平均正答率の差について、過去3年分の比較をしています。



○ 3年間継続して課題となっている設問の状況

3年間の設問別調査結果の中から、平均正答率が60%未満の設問と正答率の全国との差が5ポイント以上の設問を一覧にし、その中から出題の趣旨が共通している設問に網掛けをしています。

網掛けをした設問については、次ページから改善方策等を示しています。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		北海道(公立)		全国(公立)		全国の正答率との差	
			話す・聞く・聞く	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)		正答率(%)
H21	1-1	主語に合わせて述語の部分を正しく書き直す		○	○			○	○		○			45.2	5.9	49.8	5.6	-4.6
H21	7-1	短歌について、言葉のつながりや意味の上から切れ目を付けたものとして適切なものを選択する			○				○		○			33.7	0.7	23.9	0.8	4.8
H21	8-3	漢字を書く(燃料をオギオウ)				○					○			41.1	31.0	53.7	22.6	-12.6
H21	8三ア	適切な語句を選択する(急いでいるときは、靴をはくのもどかしい)				○				○	○			47.9	1.3	49.3	1.4	-1.4
H21	8三イ	適切な語句を選択する(鬼をおいほうならわしは、今でも続いている)				○				○	○			65.5	0.8	71.0	0.9	-5.5
H20	2-狐	故事とその解説を読み、「狐」にたとえられている人物を選択する			○						○			55.8	0.4	58.9	0.4	-3.1
H20	3-1	意見文に対する評価として適切なものを選択する		○					○		○			39.8	0.4	39.7	0.4	0.1
H20	5-1	事象(茶わんの湯気の渦の様子)について書かれた一文を本文中から探して書く			○					○				41.2	6.2	45.4	5.5	-4.2
H20	6-1	漢字を書く(将来のことはヨソクできない)				○					○			55.1	17.5	63.2	15.1	-8.1
H20	6-2	漢字を書く(富士山をハイケイに写真をとる)				○					○			70.4	13.6	77.5	10.1	-7.1
H20	6三オ	適切な語句を選択する(彼がこの討論の口火を切った)				○					○	○		55.2	1.2	54.7	1.4	0.5
H20	6六イ	漢和辞典で調べた意味の中から、ふさわしいものを選択する(年頭)				○					○			35.9	1.8	37.9	2.0	-2.0
H19	2-2	手紙の本文の書き出しの語を選択する		○							○			75.6	0.2	80.6	0.2	-5.0
H19	2-3	手紙の後付けの適切な書き方を選択する		○							○			50.4	0.4	55.5	0.4	-5.1
H19	8-3	漢字を書く(友達に本を力す)				○					○			57.1	8.7	58.1	7.3	-1.0
H19	8-2	漢字を読む(草木が繁茂している)				○					○			22.2	35.6	30.3	23.3	-8.1

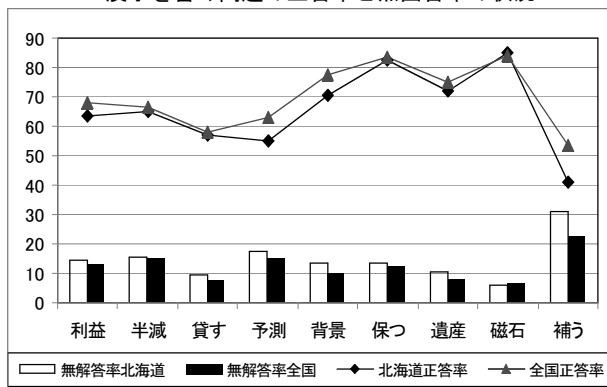
○ 改善方策について
【中学校国語A】

言語事項

【現状】

- 3年間に出题された漢字を書く問題では、全9問中7問で無解答率が10%を超えており、全国と比べ無解答率が高い。
- 質問紙調査における「新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしているか」という質問に対する「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答率を全国と比較すると、平成19年度は4.1ポイント、平成20年度は4.0ポイント低い。(平成21年度は同様の質問なし。)

漢字を書く問題の正答率と無回答率の状況



<参考> 出題された漢字の配当学年

年	問題	配当学年
H19	利益	「利」(4)「益」(5)
	半減	「半」(2)「減」(5)
	貸す	「貸」(5)
H20	予測	「予」(3)「測」(5)
	背景	「背」(6)「景」(4)
	保つ	「保」(5)
H21	遺産	「遺」(6)「産」(4)
	磁石	「磁」(6)「石」(1)
	補う	「補」(6)

出題範囲である中学校第2学年においては、学年別配当表の漢字うち、950字程度を書くことが求められています。

【課題】

- 学習した漢字を使って書くことに課題がある。

【改善方策】

- 文や文章の中で漢字を適切に使うことができるようにする。
 - ・ 一字一字を正確に読み書きさせるだけでなく、語彙として文脈に即して使用できるようにする。
 - ・ 音と訓、類似した漢字の字形や「へん」「つくり」「かんむり」などの漢字の構成部分について理解を深める指導を計画的に行う。
- 辞書を活用して調べる機会を多く設ける。
 - ・ 辞書に掲載されている複数の意味の中から、文脈や用法に合った適切な語句を選ぶ学習を積み重ねる。
 - ・ 家庭や学校で漢字辞典を活用して、漢字の読み方や意味、成り立ちについて調べる学習活動を充実させる。
- 書写の指導との関連を図る。
 - ・ 毛筆や硬筆の書写指導の中で、新出漢字を取り上げ、基本的な点画を確認する指導を充実させる。

○ 改善方策について
【中学校国語 A】

読むこと

【現状】

- 「論理の展開に即して、内容を読み取る問題（平成20年度）」や「短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむ問題（平成21年度）」など、表現の仕方に注意して読み、内容的確にとらえる問題の正答率がいずれも60%未満であり、全国の正答率と比べて低い。
- 質問紙調査における「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしてるか」という質問に対する「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の回答率は全国と比べて低い。

表現の仕方に注意して読み、内容的確にとらえる問題の概要（H20）

— 線部①「湯気が上がる時にはいろいろな渦ができます。」とありますが、「茶碗の湯気」の渦の様子が書かれた一文を本文中から探し、最初と最後の五字ずつを書きなさい。（句読点も一字に数えます。）

（文章は略）

⑤次は、寺田寅彦（一八七八年～一九三五年）が書いた文章です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。（1）④は、段落の番号を表します。）

【課題】

- 文章の展開や描写などに注意して、的確に読むことに課題がある。

【改善方策】

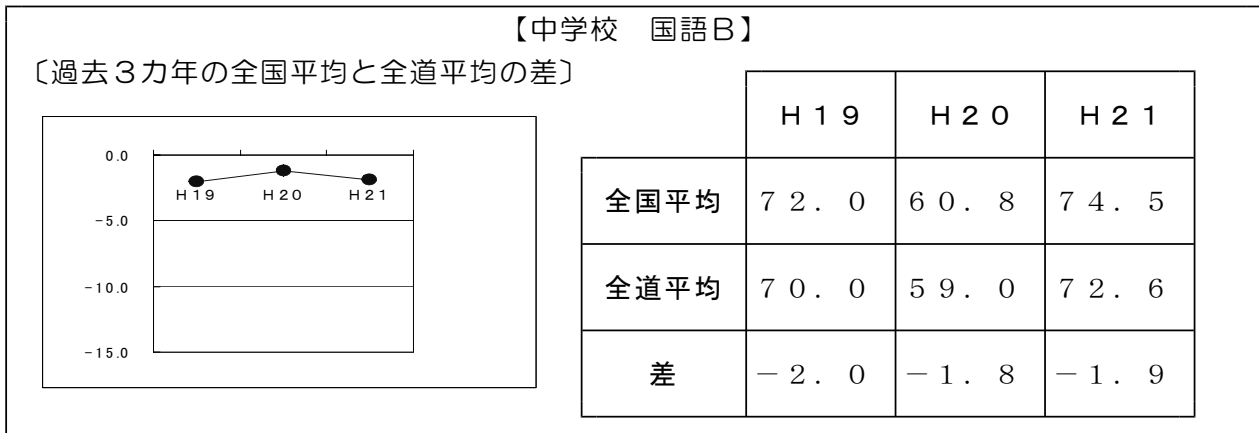
- 表現の仕方に注意して読み、内容を理解できるようにする。
 - ・文章全体を大きくとらえてから細部を詳しく読んだり、読む目的に応じて細部を詳しく読んだりする学習を意図的に取り上げる。
 - ・言葉のつながりや意味のまとまりをとらえたり、説明や描写、比喩などの表現技法に注意して読んだりする学習を行う。
 - ・書き手の説明の工夫や説得の方法などをとらえながら読む言語活動を工夫する。
- 目的に応じて様々な資料を読むようにする。
 - ・物語や小説、科学的な内容を扱った文章など、目的に応じて様々な種類の文章に触れる機会を意図的・計画的に設ける。

イ 3年間継続して課題となっている設問の分析と改善

【中学校国語B】

○ 経年比較

中学校国語Bにおける全国と全道の平均正答率の差について、過去3年分の比較をしています。



○ 3年間継続して課題となっている設問の状況

3年間の設問別調査結果の中から、平均正答率が60%未満の設問と正答率の全国との差が5ポイント以上の設問を一覧にし、その中から出題の趣旨が共通している設問に網掛けをしています。

網掛けをした設問については、次ページから改善方策等を示しています。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式		北海道(公立)		全国(公立)		全国の正答率との差
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
H21	1三ア	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の郷土資料コーナーの見出しを書く		○	○	○	○	○	○	○	○	54.2	8.4	58.1	7.1	-4.9
H21	3三	詩と組み合わせる写真を一枚選び、その写真と組み合わせる理由を詩と写真を関連付けて書く		○	○	○	○	○	○	○	○	74.5	4.8	80.8	4.3	-6.3
H20	1三	別の資料に書かれている新しい情報を選び出し、条件にしたがって書き換える		○	○	○	○	○	○	○	○	25.7	21.2	28.5	17.6	-0.8
H20	2三	登場人物の行動を読み取り、付箋に整理して書く		○	○	○	○	○	○	○	○	42.4	25.3	46.0	21.9	-3.6
H20	2四	登場人物が大切にしていると考えられることを四字熟語と関連付け、80字以上120字以内で書く		○	○	○	○	○	○	○	○	53.6	34.8	60.5	27.8	-6.9
H20	3二	グラフから読み取れることの説明として、適切なものを選択する		○	○	○	○	○	○	○	○	52.8	1.8	53.8	2.0	-1.0
H20	3三	「全然」の使い方についての自分の考えを、根拠を明確にして70字以上100字以内で書く		○	○	○	○	○	○	○	○	52.9	17.3	53.7	13.5	-0.8
H19	2三	「三」の場面の有無に関して、自分の考えを80字以上120字以内で書く		○	○	○	○	○	○	○	○	89.4	13.7	74.8	10.1	-5.4
H19	3二(2)	中学生が作成した広告カードに共通して書かれている情報を二つ書く		○	○	○	○	○	○	○	○	53.3	10.3	53.8	10.0	-0.6
H19	3三	中学生の広告カードと、店員が作成した広告カードを比較し、違いを説明する		○	○	○	○	○	○	○	○	41.0	14.4	42.8	12.4	-1.6

○ 改善方策について

【中学校国語B】

書くこと、読むこと

【現状】

- 「資料に表れているものの見方や考え方をとらえ、伝えたい事柄や考えを明確にして書く問題（平成19年度）」や「資料に表れている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書く問題（平成20年度）」、「資料に表れている工夫を自分の表現に役立てる問題（平成21年度）」など、資料から必要な情報を取り出す問題の正答率が、3年連続60%未満であり、全国と比べて無解答率も高い。

資料から必要な情報を取り出す問題の概要（H20）

条件1 文章【B】で報じられた新しい事実に基づいて書くこと。

条件2 「いつ」「だれ（が）」「何（を）」「どうした」という四つの要素をすべて含め、それぞれ文章【B】の言葉を用いて書くこと。

条件3 「そして」という言葉に続けて書くこと。

2007年4月20日
花を咲かせるホルモンを発見
奈良先端科学技術大学院大学グループ

思いどおりの時期に植物の花を咲かせるホルモン「フロリゲン」が発見された。このホルモンは約70年前にその存在が提唱されたが、多くの研究者の努力にもかかわらず取り出すことができなかった。

去る4月16日、日本の奈良先端科学技術大学院大学は、「フロリゲンを世界に先駆け発見した」と発表した。奈良先端科学技術大学院大学のグループは、花に関係する遺伝子が作るタンパク質に着目。葉で作られたこのタンパク質が、茎の先端に集まって開花を引き起こしていることを突き止め、「フロリゲン」と断定した。イネを使った実験では、通常約50日から60日を要する開花を15日から20日で実現。また、イネの遺伝子を用いてキクの開花時期を早めることにも成功した。

【A】（略）

（田中修『ふしぎの植物学』126頁）

① 植物が開花する仕組みについて調べていた中学生の長井さんは、図書館で次のような文章【A】を見付けました。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【課題】

- 資料に書かれている情報の中から必要な内容を選ぶことに課題がある。

【改善方策】

- 目的や課題に応じて主体的に読む。
 - ・「どのような目的で読むのか」、「どのような点に着目して読むのか」といった目的意識が明確になるよう言語活動を工夫する。
- 様々な資料から情報を収集する方法を身に付ける。
 - ・学校図書館などを活用して様々な資料があることに気付くことができるようにする。
 - ・多方面から情報を収集することに慣れ親しませる。
- 複数の情報を吟味し、必要に応じて取捨選択する力を高める。
 - ・資料の書かれた時期、書き手の立場や目的、書き手が根拠としていること、表現の仕方の適否などについて吟味し、情報の中から必要なものを選び取るようにする。
 - ・関連する複数の情報を比較し、共通点や相違点をまとめるなど、情報を整理する学習を行う。

○ 改善方策について

【中学校国語B】

話すこと・聞くこと、書くこと

【現状】

- 3年間の国語B問題で、平均正答率が60%未満、あるいは、全国の正答率との差が5ポイント以上の設問10問のうち7問が、「条件に合わせて説明したり自分の考えを書いたりする問題」である。

国語B問題で示されている条件の例

条件1 書き出しの文に続けて書くこと。
条件2 本文中の表現や内容に触れること。
条件2 80字以上、120字以内で書くこと。(解答用紙に書かれている書き出しの文の字数を含む。)
平成19年度²三

条件1 文章【B】で報じられた新しい事実に基づいて書くこと。
条件2 「いつ」、「だれ(が)」、「何(を)」、「どうした」という4つの要素をすべて含め、それぞれ文章【B】の言葉を用いて書くこと。
条件3 「そして」という言葉に続けて書くこと。
平成20年度¹三

条件1 その写真と組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付けて書くこと。
条件2 詩の中の言葉を使って書くこと。
条件3 解答用紙に書かれている後ろの文に続くように、60字以上、90字以内で書くこと。
平成21年³三

【課題】

- 条件に応じて話したり書いたりすることに課題がある。

【改善方策】

- 様々な条件に応じる力を高める。
- ・ 字数や時間などの制限や条件を提示し、その条件に応じる言語活動を位置付ける。
 - ・ 相手や目的、場面などに応じて、伝えたい事実や事柄を明確にして論理的に意見を述べる文章を書く習慣を付ける。
 - ・ 相手や目的を明確にして、どのような理由や根拠を基にして書いたり話したりするのが効果的であるのかを考えるようにする。
- 情報を自分の表現に活用する力を高める。
- ・ 「知らせる」、「理解させる」、「納得させる」など、情報を活用する目的を明らかにする。
 - ・ 「発表する」「記述する」など、情報を伝える方法を明らかにする。
 - ・ 「箇条書きにする」、「図や表を用いる」、「グラフに表す」など、情報を提示する方法を明らかにする。